

平成22年度

大学院看護学研究科

看護学専攻・助産学専攻（修士課程）

# 学 生 募 集 要 項



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

学校法人 日本赤十字学園  
日本赤十字北海道看護大学  
The Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

<http://www.rchokkaido-cn.ac.jp>

# 目 次

## 看護学専攻

### 要項

1.	募集人員、専門分野、試験区分と試験日	1
2.	出願資格	1
3.	推薦基準	1
4.	出願期間	2
5.	出願手続	2
6.	入学検定料の納入	3
7.	選抜方法	3
8.	試験日時及び試験科目	4
9.	試験場	4
10.	合格者発表	4
11.	入学手続	4
12.	授業料等納付金	5
13.	担当教員連絡先	5
14.	出願資格審査	6
15.	出願書類の送付先、ならびに問い合わせ先	6

### 概要

1.	目的	7
2.	修業年限	7
3.	学位	7
4.	課程編成の特色	7
5.	昼夜開講	7
6.	長期履修制度	7
7.	教育課程	8
8.	専攻分野の教育目標	9
9.	主な研究内容と講義担当教員	10
10.	修了後の資格	10
11.	修了後の進路	10
12.	奨学金	11

## 助産学専攻

### 要項

1.	募集人員、試験区分と試験日	12
2.	出願資格	12
3.	推薦基準	13
4.	出願期間	13
5.	出願手続	14
6.	入学検定料の納入	14
7.	選抜方法	15
8.	試験日時及び試験科目	15
9.	試験場	15
10.	合格者発表	16
11.	入学手続	16
12.	授業料等納付金	16
13.	出願資格審査	17
14.	出願書類の送付先、ならびに問い合わせ先	17

### 概要

1.	教育理念と教育目的	18
2.	コースの内容	18
3.	修業年限	18
4.	学位	18
5.	長期履修制度	19
6.	教育課程の構成	19
7.	修了後の資格	20
8.	奨学金	20

入学試験および入学手続きの日程

	推薦入学試験	一般入学試験	
		前期	後期
出願期間	平成21年9月14日(月) ～ 平成21年9月30日(水)	平成21年9月14日(月) ～ 平成21年9月30日(水)	平成22年2月8日(月) ～ 平成22年2月19日(金)
入学検定料 の納付	平成21年9月14日(月) ～ 平成21年9月30日(水)	平成21年9月14日(月) ～ 平成21年9月30日(水)	平成22年2月8日(月) ～ 平成22年2月19日(金)
試験日	平成21年10月11日(日)	平成21年10月11日(日)	平成22年2月28日(日)
合格発表	平成21年10月14日(水) 午後5時	平成21年10月14日(水) 午後5時	平成22年3月2日(火) 午後5時
入学申し込み 手続き	平成21年10月15日(木) ～ 平成21年10月23日(金)	平成21年10月15日(木) ～ 平成21年10月23日(金)	平成22年3月3日(水) ～ 平成22年3月12日(金)
入学手続き	平成22年3月25日(木)	平成22年3月25日(木)	平成22年3月25日(木)

出願資格審査の日程

	推薦入学試験	一般入学試験	
		前期	後期
出願期間	平成21年8月24日(月) ～ 平成21年9月4日(金)	平成21年8月24日(月) ～ 平成21年9月4日(金)	平成22年1月12日(火) ～ 平成22年1月22日(金)
結果通知	平成21年9月11日(金)	平成21年9月11日(金)	平成22年1月29日(金)

# 看護学専攻

## 研究分野

安全管理学分野

成人看護学分野

精神看護学分野

地域看護学分野

がん看護学分野

## 1. 募集人員、専門分野、試験区分と試験日

### 募集人員と専門分野

看護学専攻 修士課程 入学定員 6名

#### 論文コース

安全管理学分野、成人看護学分野、精神看護学分野、地域看護学分野、がん看護学分野  
 専門看護師（Certified Nurse Specialist：CNS）コース

安全管理学分野（感染症看護）、がん看護学分野（がん看護）

### 試験区分

1. 推薦入学試験（以下、推薦とする）
2. 一般入学試験前期、後期（以下、前期、後期とする）

区 分	試 験 日	看 護 学 専 攻
推 薦	平成 21 年 10 月 11 日（日）	若干名
前 期	平成 21 年 10 月 11 日（日）	推薦、前期、後期を あわせて 6 名
後 期	平成 22 年 2 月 28 日（日）	

## 2. 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。ただし、専門看護師コースでは、専門看護分野の実務経験を 3 年以上有する者とします。

- (1) 大学を卒業した者、および平成 22 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を授与された者、および平成 22 年 3 月までに授与見込の者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (6) 本大学院において、出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

(注) 出願資格 (6) により出願しようとする者は、事前に本大学院の出願資格審査を受けてください (6 ページ)。また、出願資格審査結果は同一年度内に限り有効です。

## 3. 推薦基準

出願資格を有した者で、入学時で看護師として 2 年以上の実務経験がある者とします。さらに以下の (1)～(3) の条件を満たして看護部長あるいは看護師長等が推薦する者とします。

- (1) 本大学院を第一志望とし、合格後に入学を確約する者
- (2) 学習意欲が高く、勤務態度が良好な者
- (3) 健康で協調性があり社会的な生活態度が良好な者

## 4. 出願期間

試験区分	出 願 期 間
推 薦	平成 21 年 9 月 14 日 (月) ～ 平成 21 年 9 月 30 日 (水) (出願締切当日の消印有効)
前 期	平成 21 年 9 月 14 日 (月) ～ 平成 21 年 9 月 30 日 (水) (出願締切当日の消印有効)
後 期	平成 22 年 2 月 8 日 (月) ～ 平成 22 年 2 月 19 日 (金) (出願締切当日の消印有効)

出願を希望する者は、あらかじめ志望する分野の指導担当教員と面談し、今後の研究活動について相談してください。電話・E-mailでの相談も可能です。電話番号・メールアドレスについては、5ページを参照してください。

## 5. 出願手続

下記書類等を取りまとめ、本学所定の封筒を用いて、本学学務支援課宛に「特定記録」で郵送してください。なお、出願書類に不備のある場合は受理しません。また、受理された出願書類は内容の変更を認めません。さらに、出願書類は返却いたしません。

書 類 等	摘 要
1 入学志願票・履歴書	本学所定用紙を使用してください。
2 受験票・写真票・入学検定料納入票	写真 2 枚 (出願日前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦 4 cm×横 3 cm) を入学志願票、および写真票に貼付してください。
3 卒業および成績に関する証明書	①大学の卒業証明書又は卒業見込証明書、および成績証明書。 ②「2. 出願資格の(2)」による出願者は次のとおりです。 ア. 既に学位授与機構により学位を授与された者は学位授与証明書、ならびに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 イ. 既に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書、ならびに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 ウ. 10月に学位授与機構に認定修了申請をしようとしている者は、学位修得の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の単位修得証明書。 ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者は修了証明書、および成績証明書。 証明書は、発行者が厳封したものとします。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は①の卒業(見込)証明書、および成績証明書は不要です。
4 在職証明書	論文コースを推薦入学試験で受験する者は 2 年以上、専門看護師コースの選択者は専門看護分野の実務経験 3 年以上を証明する在職証明書。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は不要です。
5 免許証の写し	看護師の免許証の写し、および保健師・助産師の免許資格を有する者はその免許証の写し。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は免許証の写しは不要です。
6 受験票返信用切手	受験票返信用として郵便切手 350 円分を同封してください。受験票は入学志願票に記載されている現住所(又は連絡先)に速達郵便で送付します。
7 研究テーマと研究の動機	論文コースの選択者は、別紙様式(様式-1)により提出してください。
8 推薦書	推薦入学試験で受験する者は別紙様式(様式-2)により提出してください。

外国人志願者は、以下の書類を併せて提出してください（前ページからの続きです）。

- ①当該駐在外国公館、又はこれに準ずる機関の推薦書、ならびに在留資格を記入した外国人登録済証明書（市区町村長が発行したもの）
- ②日本国内に在住する日本人による出願者の身元証明書（保証人は日本国籍を有する経済的に独立している者で、入学後も引き続いて保証人となりうる者であること）

## 6. 入学検定料の納入

入学検定料 30,000 円

本学所定の振込依頼書により銀行窓口にて振り込んでください。

検定料領収書は振込控として本人が保管し、検定料振込受付証明書を「入学検定料納入票」に貼付してください。なお、証明書が貼付されていないものは、出願書類として受理しません。また納入された入学検定料は返却いたしません。ただし、不合格者の年度内再受験は入学検定料が免除されます。

試験区分	振込取扱期間
推薦	平成 21 年 9 月 14 日（月）～平成 21 年 9 月 30 日（水）
前期	平成 21 年 9 月 14 日（月）～平成 21 年 9 月 30 日（水）
後期	平成 22 年 2 月 8 日（月）～平成 22 年 2 月 19 日（金）

## 7. 選抜方法

選抜は、学力検査、面接、および書類審査等を総合して行います。

### 推薦入学試験

#### (1) 学力検査

小論文

#### (2) 面接

### 一般入学試験

#### (1) 学力検査

①専門科目：下記の志望する各専門分野に対する試験科目

志望する分野	各分野に対する試験科目
安全管理学分野	基礎看護学
成人看護学分野	成人看護学
精神看護学分野	精神保健看護学
地域看護学分野	地域看護学
がん看護学分野	がん看護学

②外国語科目：英語（英和辞書のみ持ち込み可です。ただし、電子辞書は不可です）

#### (2) 面接

## 8. 試験日時及び試験科目

試験区分	試験日	科目名	時間
推薦	平成 21 年 10 月 11 日 (日)	小論文	9:30~11:00
		面接	11:20~
前期	平成 21 年 10 月 11 日 (日)	専門科目	10:00~11:30
後期	平成 22 年 2 月 28 日 (日)	外国語科目 (英語)	12:30~13:30
		面接	14:00~

## 9. 試験場

推薦入学試験、一般入学試験前期

北見会場

日本赤十字北海道看護大学  
北海道北見市曙町 664 番地 1

一般入学試験後期

北見会場

日本赤十字北海道看護大学  
北海道北見市曙町 664 番地 1

必ず受験票を持参のうえ入場してください。

## 10. 合格者発表

試験区分	発表日時	発表場所
推薦	平成 21 年 10 月 14 日 (水) 午後 5 時	日本赤十字北海道看護大学 講義・演習棟 1 階掲示板
前期	平成 21 年 10 月 14 日 (水) 午後 5 時	
後期	平成 22 年 3 月 2 日 (火) 午後 5 時	

合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書、および入学手続書類を速達郵便で送付します。なお、合格発表に関する問い合わせには応じられません。

## 11. 入学手続

(1) 入学申込手続き

合格通知書とともに郵送される書類により、所定の入学申込手続を下記の期間内に行ってください。

試験区分	入学申込手続期間
推薦	平成 21 年 10 月 15 日 (木) ~平成 21 年 10 月 23 日 (金) (締切当日の消印有効)
前期	平成 21 年 10 月 15 日 (木) ~平成 21 年 10 月 23 日 (金) (締切当日の消印有効)
後期	平成 22 年 3 月 3 日 (水) ~平成 22 年 3 月 12 日 (金) (締切当日の消印有効)

## (2) 入学手続

入学申込手続後、前期分授業料等の納付金を下記の期日までに納付してください。

試験区分	前期分授業料等の納付期限
推薦、前期、後期	平成22年3月25日(木)

## 12. 授業料等納付金

平成22年度の納付金については以下のとおりです。

種類	金額	摘要
入学金	200,000円	入学申込手続時に納付、ただし本学卒業生は免除
授業料	年額800,000円	前期分(400,000円)は入学手続時に納付 後期分(400,000円)は10月中に納付
実験実習料	年額150,000円	入学手続時に納付
維持運営費	年額150,000円	入学手続時に納付
計	1,300,000円	

なお、納入された入学金は返還いたしません。

## 13. 担当教員連絡先

分野	担当教員	電話番号
		E-mailアドレス
安全管理学分野	休波 茂子	0157-66-3332 yasunami@rchokkaido-cn.ac.jp
成人看護学分野	河原田 榮子	0157-66-3394 kawaharada@rchokkaido-cn.ac.jp
精神看護学分野	澤田 愛子	0157-66-3364 aiko@rchokkaido-cn.ac.jp
地域看護学分野	大西 章恵	0157-66-3362 oonishi@rchokkaido-cn.ac.jp
がん看護学分野	伊奈 侑子	0157-66-3371 koukoi@rchokkaido-cn.ac.jp

## 14. 出願資格審査

出願資格（6）により出願する者は、看護師の免許を有し、当該免許に関して入学時点で2年以上の実務経験を有する者としてします。

### （1）出願期間、出願資格審査の結果通知

試験区分	出 願 期 間	出願資格審査の結果通知
推 薦	平成21年8月24日（月）～平成21年9月4日（金） 出願締切当日の消印有効	平成21年9月11日（金）
前 期	平成21年8月24日（月）～平成21年9月4日（金） 出願締切当日の消印有効	平成21年9月11日（金）
後 期	平成22年1月12日（火）～平成22年1月22日（金） 出願締切当日の消印有効	平成22年1月29日（金）

### （2）出願資格審査申請書類等

下記の書類を所定の封筒を用いて本学学務支援課宛に「特定記録」で郵送してください。

- ①出願資格審査申請書
- ②看護師の国家試験受験資格を得た、短期大学、専門学校、あるいはその他の教育機関の卒業（修了）証明書と成績証明書
- ③看護師の免許証の写し、および保健師・助産師の免許資格を有する者はその免許証の写し
- ④在職証明書（2年以上を証明するもの。ただし、専門看護師コースに志願する者は専門看護分野の実務経験3年以上。）
- ⑤自己推薦書（1,000字以内、様式-3）

### （3）出願資格審査の方法 書類審査

### （4）出願資格審査の結果通知

出願資格審査結果を本人宛に郵送します。

## 15. 出願書類の送付先、および並びに問い合わせ先

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1

日本赤十字北海道看護大学 学務支援課

電 話 0157-66-3311（平日 8:30～17:00）

F A X 0157-61-3125

E-mail アドレス n-master@rchokkaido-cn.ac.jp

照会は、受験を希望している本人が行ってください。

## 日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の概要

## 1. 目的

日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科は、人道・博愛の理念を基調とする赤十字の精神にのっとり、高度の実践能力を備え、同時に広い視野に立って教育・研究能力を発揮する専門看護職者の養成を目的とする。

今日の国際社会および地域社会は、ともに先進の技術を駆使して最善の看護を実践できる能力を備えた専門看護職者を求めている。この社会的要求に応えるために本学大学院看護学研究科においては、下記の高度専門職業人、教育者、研究者、管理者を養成する。

1. 高度専門職業人としてリーダーシップを発揮できる専門看護職者の育成
2. 看護職者の養成、および卒後・生涯教育を担うことができる看護教育者の育成
3. 学術的な看護研究を推進できる研究者の育成
4. 看護実践の場で、効果的に看護管理を行う人材の育成
5. 国際救援・災害救護に尽力できる専門看護職者の育成

## 2. 修業年限

2年

## 3. 学位

修士（看護学）

## 4. 課程編成の特色

日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科看護学専攻は、看護学の諸分野において専門的かつ教育・研究的役割を果たすことができる能力を育成するために論文コースを設定し、専門分野を安全管理学、成人看護学、精神看護学、地域看護学、がん看護学の5つに分類している。さらに、安全管理学とがん看護学の2分野においては専門看護師コースを設けている。

## 5. 昼夜開講

看護学専攻（修士課程）では、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学が可能となるよう、昼夜開講を実施しています。

## 6. 長期履修制度

職業を有する等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（上限3年）にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望することを申し出た時は、審査のうえ計画的な履修を認めます。またその場合は授業料等の支払い額は以下ようになります。詳細は担当教員に相談してください。

	金額（年額）					納付期間
	標準課程		長期履修課程			
	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目	
授業料	800,000円	800,000円	500,000円	550,000円	550,000円	前期 4月中 後期 10月中
実験実習料	150,000円	150,000円	100,000円	100,000円	100,000円	4月中
維持運営費	150,000円	150,000円	100,000円	100,000円	100,000円	4月中

## 7. 教育課程

分野	授業科目名	単位数	論文 コース	CNS コース	修了要件			
安全管理学	特論Ⅰ(安全管理基礎)	2	○	○	・論文コース(30単位以上) 専門科目(必修):20単位 共通選択科目(必修):8単位 共通選択科目、他分野(選択):2単位以上  ・CNSコース(30単位以上) 専門科目(必修):20単位以上 共通選択科目(必修):10単位			
	特論Ⅱ(医療事故)	2	○					
	特論Ⅲ(感染症看護基礎)	2		○				
	特論Ⅳ(感染症看護実践)	2		○				
	特論Ⅴ(感染症看護実践)	2		○				
	演習Ⅰ(安全管理学)	4	○	○				
	演習Ⅱ(安全管理学)	4	○					
	実習Ⅰ(感染症看護)	3		○				
	実習Ⅱ(感染症看護)	3		○				
	課題研究 研究(論文)	2 8		※ ※				
			20単位	20単位以上				
成人看護学	特論Ⅰ(成人看護学)	2	○		・論文コース(30単位以上) 専門科目(必修):18単位 共通選択科目(必修):8単位 共通選択科目、他分野(選択):4単位以上			
	特論Ⅱ(成人看護学)	2	○					
	演習Ⅰ(成人疾患と病態解析)	3	○					
	演習Ⅱ(成人看護援助論)	3	○					
	研究(論文)	8	○					
			18単位					
精神看護学	特論Ⅰ(精神看護学)	2	○		・論文コース(30単位以上) 専門科目(必修):18単位 共通選択科目(必修):8単位 共通選択科目、他分野(選択):4単位以上			
	特論Ⅱ(精神看護学)	2	○					
	演習Ⅰ(精神看護学)	3	○					
	演習Ⅱ(精神看護学)	3	○					
	研究(論文)	8	○					
			18単位					
地域看護学	特論Ⅰ(公衆衛生看護学)	2	○		・論文コース(30単位以上) 専門科目(必修):18単位 共通選択科目(必修):8単位 共通選択科目、他分野(選択):4単位以上			
	特論Ⅱ(地域組織活動)	2	○					
	演習Ⅰ(地域看護活動論)	3	○					
	演習Ⅱ(地域看護対象論)	3	○					
	研究(論文)	8	○					
			18単位					
がん看護学	特論Ⅰ(腫瘍病態治療学)	2	○	○	・論文コース(30単位以上) 専門科目(必修):18単位 共通選択科目(必修):8単位 共通選択科目、他分野(選択):4単位以上  ・CNSコース(30単位以上) 専門科目(必修):20単位以上 共通選択科目(必修):4単位 (選択必修):4単位以上 共通選択科目、他分野(選択):2単位以上			
	特論Ⅱ(がん看護援助論)	2		○				
	特論Ⅲ(がん看護理論)	2	○	○				
	特論Ⅳ(がん薬物療法)	2	○	○				
	演習Ⅰ(がん看護学)	2	○	○				
	演習Ⅱ(がん化学療法看護)	2	○	○				
	実習Ⅰ(がん看護学)	3		○				
	実習Ⅱ(がん看護学)	3		○				
	課題研究 研究(論文)	2 8		※ ※				
			18単位	20単位以上				
共通選択科目	看護研究方法論Ⅰ	2	○	○	○	○	○	○
	看護研究方法論Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○
	看護倫理	2	○	○	○	○	○	○
	看護教育論	2		△				□
	看護管理論	2		△				□
	看護理論	2		△				□
	コンサルテーション論	2		△		○		□
	国際災害看護学	2			○			
	保健統計学	2	○	△			○	
	運動生理学	2						
	生体機能学	2						
	グローバル化看護	2						

- ・修了要件30単位以上、○印は必修科目を示す(助産学専攻の共通選択科目(20ページ)も選択可能)。
- ・※印は、いずれか1科目選択。△印は5科目の中から2科目以上、□印は4科目の中から2科目以上選択。

## 8. 専攻分野の教育目標

### 安全管理学分野

安全管理学分野では、医療安全に必要な倫理的・実践的知識を習得し、安全管理の実践を創造できる能力を高め、保健医療福祉施設において安全管理に関するリーダーシップが発揮できる看護師を育成する。さらに、利用者のケアの質の保証について追求し、危機管理的視点（リスクマネジメント）により医療全般に関する管理ができる実践者の育成を目指す。

感染管理を行うために必要な専門的知識・技術について学び、効果的な感染防止技術や感染管理の方法を科学的に探求する。また、感染症患者や易感染患者のQOLの向上を目指し、感染管理活動の方策について追求する。

### 成人看護学分野

成人看護学分野では、生命の脅威や心理的危機状態にある患者・家族とこれを取り巻く様々な環境および高度先端的治療に対して、専門的知識・技術に基づいた看護を提供できる看護師を養成する。また成人の慢性期・終末期にある患者・家族を総合的に捉え、多様な視点から対象理解を深め、最近の保健医療の動向をふまえながら成人看護学分野に必要な方策について追求する。

### 精神看護学分野

学部等で習得した基礎知識を前提に、現代、精神医療のなかで強調されている諸問題に焦点を当て探求する。また、日本社会で根深い差別や偏見の諸問題を直視し、地域ケアのあり方を幅広い視点で見えていく。さらに、精神医療の不幸な歴史を踏まえて、倫理問題にも焦点を当てる。受講者には、問題の分析力や治療的接近を可能にする能力の修得を期待する。

### 地域看護学分野

地域住民の主体性を尊重し、エンパワーメントしていくためには、組織化された社会の努力によって地域の健康問題の解決が求められている。本分野では、個人・家族・地域住民集団への対応、調整・ネットワーク化、施策化、地域システム化の形成などの考え方・活動方法について考察・分析していく。地域住民と共に地域社会の仕組みを改善・創出し、社会に応じた公衆衛生看護活動が実践できる能力と研究方法の修得を目指す。

### がん看護学分野

がん看護学分野では、がん看護に必要な実践能力、患者、家族ならびに他職種とのコーディネート能力、研究能力、理論的問題に対応できる実践的能力を修得する。さらにがん患者の身体的・精神的・社会的・霊的苦痛について高度な知識を身につけ、がん患者の個に即したQOLを向上する看護援助方法を開発し、実践できる能力を修得する。

## 9. 主な研究内容と講義担当教員

分野	主な研究内容	講義担当教員
安全管理学	1. 安全管理に関する研究 医療事故と医療安全に関する研究 看護技術の安全性に関する研究など 2. 感染管理に関する研究 院内感染対策に関する研究 看護師の感染予防行動に関する研究など	教授 休波 茂子 准教授 山本 美紀 講師 寺島 泰子
成人看護学	1. 重症・周手術・救急患者への援助、および家族援助に関する研究 2. 慢性疾患を抱える患者のQOL・セルフケアとリハビリテーションに関する研究 3. 手術室における看護管理に関する研究 4. 術後の安楽、苦痛緩和、障害受容などに関する研究 5. 災害看護に関する研究	教授 河原田 榮子 教授 長谷部 佳子 教授 佐久間 まこと 准教授 尾山 とし子
精神看護学	1. 災害後の心理问题（トラウマ、PTSD等）に関する研究 2. 統合失調症患者への治療的接近の研究 3. 精神医療と倫理問題の研究 4. 地域ケアと「治療共同体」の研究	教授 澤田 愛子 講師 吉谷 優子
地域看護学	1. 行政で活動する保健師の役割・機能に関する研究 2. 地域での健康問題に対する支援方法に関する研究 3. 地域における保健・福祉・医療の連携に関する研究	教授 大西 章恵 准教授 近藤 明代
がん看護学	1. がん治療に対する看護援助の開発に関する研究 2. がん看護における看護実践活動の評価方法に関する研究 3. がん化学療法看護のための基礎的研究	教授 伊奈 侑子 准教授 根本 昌宏 准教授 本間 裕子

## 10. 修了後の資格

看護学専攻専門看護師コース修了者は日本看護協会専門看護師制度による専門看護師の受験資格が得られます。

## 11. 修了後の進路

- 進学（博士課程）
- 病院および地域における専門看護職者
- 病院における看護・管理、および指導者
- 地方公共団体の保健福祉行政の指導者
- 看護系大学または高等教育機関の教員
- 災害救護や国際救護支援の活動および指導者

## 12. 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構奨学金、日本赤十字社看護師同方会奨学金、社団法人北海道看護協会奨学金等の奨学金制度があります。

## 独立行政法人日本学生支援機構奨学金

種 類	第一種奨学金	きぼう21プラン(第二種)奨学金
貸与金額	月額 50,000 円または 88,000 円から選択する。	下記の5種類の中から希望額を選択する。 月額 50,000 円 80,000 円 100,000 円 130,000 円 150,000 円
利 息	無利子	有利子
選 考	大学等並びに大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。 ・収入基準額・・・416万円	1. 大学等並びに大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。 2. 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があると認められる者。 ・収入基準額・・・595万円
返 還	貸与終了してから6ヶ月を経過後、14年以内に返還する。 返還月賦額は貸与総額によりその額が定められる。	貸与終了してから6ヶ月を経過後、次の期間内に返還する。 ・期間は、貸与月額 50,000 円→12年以内 80,000 円→13年以内 100,000 円→15年以内 130,000 円→18年以内 150,000 円→20年以内 ・返還月賦額は貸与総額によりその額が定められる。

## 日本赤十字社看護師同方会奨学金

貸与金額	在学期間 1,000,000 円以内
貸与対象者	日本赤十字社看護師同方会の正会員で学校法人日本赤十字学園が設置する看護大学の大学院研究科の在学学生を対象とし、学業・素行・健康共に良好で、かつ経済的な理由により修学が困難な者に対し、貸与する。
返 還	修了後3年以内に返還する。

## 社団法人北海道看護協会奨学金

貸与金額	月額 100,000 円以内
貸与対象者	大学院に在学する者で北海道内において、看護の教育にたずさわる意思を有する会員であること。
返 還	修了後3年以内に返還する。

# 助産学専攻

## 研究コース

助産実践形成コース

助産実践開発コース

## 1. 募集人員、試験区分と試験日

## 募集人員

助産学専攻 修士課程 入学定員 10名

助産実践形成コース

助産実践開発コース

## 試験区分

1. 推薦入学試験（以下、推薦とする）
2. 一般入学試験前期、後期（以下、前期、後期とする）

区分	試験日	助産学専攻	
		助産実践形成コース	助産実践開発コース
推薦	平成21年10月11日(日)	4名	若干名
前期	平成21年10月11日(日)	推薦と前期、後期あわせて10名	
後期	平成22年2月28日(日)		

## 2. 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としします。ただし、助産実践形成コースでは看護師免許を取得あるいは取得見込みの者としします。また、助産実践開発コースでは入学時で助産師として3年以上の実務経験を有する者としします。

- (1) 大学を卒業した者、および平成22年3月卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を授与された者、および平成22年3月までに授与見込の者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (6) 本大学院において、出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

(注) 出願資格(6)により出願しようとする者は、事前に本大学院の出願資格審査を受けてください(17ページ)。また、出願資格審査結果は同一年度内に限り有効です。

出願を希望する者は、あらかじめ指導担当教員と面談し、コース選択等について相談してください。電話・E-mailでの相談も可能です。

専攻	担当教員	電話番号
		E-mail アドレス
助産学専攻	柳原 真知子	0157-66-3335 machikoy@rchokkaido-cn.ac.jp
	日隈 ふみ子	0157-66-3334 hnmk@rchokkaido-cn.ac.jp

### 3. 推薦基準

#### 助産実践形成コース

出願資格を有する者で、以下の1. または2. を満たす者とします。

1. 平成22年3月に看護系大学を卒業見込の者で、看護師国家試験受験資格を有し、以下の(1)～(4)の条件を満たし、学長、学部長あるいは学科長が推薦する者。
2. 看護師免許を有した者で、以下の(1)～(4)の条件を満たし、看護部長あるいは看護師長等が推薦する者とします。
  - (1) 本大学院を第一志望とし、合格後に入学を確約する者
  - (2) 修了後、助産師を希望する者
  - (3) 学業成績優秀な者、又は勤務態度が良好な者
  - (4) 健康で協調性があり社会的な生活態度が良好な者

#### 助産実践開発コース

出願資格を有する者で、以下の(1)～(3)の条件を満たし、看護部長または看護師長等が推薦する者とします。

- (1) 本大学院を第一志望とし、合格後に入学を確約する者
- (2) 学習意欲が高く、勤務態度が良好な者
- (3) 健康で協調性があり社会的な生活態度が良好な者

### 4. 出願期間

試験区分	出 願 期 間
推 薦	平成21年9月14日(月)～平成21年9月30日(水)(出願締切当日の消印有効)
前 期	平成21年9月14日(月)～平成21年9月30日(水)(出願締切当日の消印有効)
後 期	平成22年2月8日(月)～平成22年2月19日(金)(出願締切当日の消印有効)

## 5. 出願手続

下記書類等を取りまとめ、本学所定の封筒を用いて、本学学務支援課宛に「特定記録」で郵送してください。なお、出願書類に不備のある場合は受理しません。また、受理された出願書類は内容の変更を認めません。さらに、出願書類は返却いたしません。

書 類 等	摘 要
1 入学志願票・履歴書	本学所定用紙を使用してください。
2 受験票・写真票 入学検定料納入票	写真 2 枚（出願日前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦 4 cm×横 3 cm）を入学志願票、および写真票に貼付してください。
3 証明書	①大学の卒業証明書又は卒業見込証明書、および成績証明書。 ②「2. 出願資格の（2）」による出願者は次のとおりです。 ア. 既に学位授与機構により学位を授与された者は学位授与証明書、ならびに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 イ. 既に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書、ならびに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 ウ. 10月に学位授与機構に認定修了申請をしようとしている者は、学位修得の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の単位修得証明書。 ③外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者は修了証明書、および成績証明書。 証明書は発行者が厳封したものとします。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は①の卒業（見込）証明書、および成績証明書は不要です。
4 在職証明書	助産実践開発コースの選択者は入学時で助産師としての実務経験 3 年以上を証明する在職証明書。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は不要です。
5 免許証の写し	看護師の免許証の写し、および保健師・助産師の免許資格を有する者はその免許証の写し。なお、出願資格審査により出願資格を認定された者は免許証の写しは不要です。
6 受験票返信用切手	受験票返信用として郵便切手 350 円分を同封してください。受験票は入学志願票に記載されている現住所（又は連絡先）に速達郵便で送付します。
7 研究テーマと 研究の動機	別紙様式（様式-1）により提出してください。
8 推薦書	推薦入学試験で受験する者は、別紙様式（様式-2）により提出してください。

## 6. 入学検定料の納入

入学検定料 30,000 円

本学所定の振込依頼書により銀行窓口にて振り込んでください。

検定料領収書は振込控として本人が保管し、検定料振込受付証明書を「入学検定料納入票」に貼付してください。なお、証明書が貼付されていないものは、出願書類として受理しません。また納入された入学検定料は返却いたしません。ただし、不合格者の年度内再受験は入学検定料が免除されます。

試験区分	振込取扱期間
推 薦	平成 21 年 9 月 14 日（月）～平成 21 年 9 月 30 日（水）
前 期	平成 21 年 9 月 14 日（月）～平成 21 年 9 月 30 日（水）
後 期	平成 22 年 2 月 8 日（月）～平成 22 年 2 月 19 日（金）

## 7. 選抜方法

選抜は、学力検査、面接、および書類審査等を総合して行います。

### 推薦入学試験

#### (1) 学力検査

小論文

#### (2) 面接

### 一般入学試験

#### (1) 学力検査

①専門科目：下記の志望する各コースに対する試験科目

志望するコース	コースに対する試験科目
助産実践形成コース	母性看護学
助産実践開発コース	助産学

②外国語科目：英語（英和辞書のみ持ち込み可です。ただし、電子辞書は不可です）

③小論文

#### (2) 面接

## 8. 試験日時及び試験科目

試験区分	試験日	科目名	時間
推薦	平成 21 年 10 月 11 日 (日)	小論文	9:30~11:00
		面接	11:20~
前期	平成 21 年 10 月 11 日 (日)	小論文	9:30~11:00
		専門科目	11:15~12:15
後期	平成 22 年 2 月 28 日 (日)	外国語科目 (英語)	13:00~14:00
		面接	14:15~

## 9. 試験場

### 推薦入学試験、一般入学試験前期

北見会場

日本赤十字北海道看護大学  
北海道北見市曙町 664 番地 1

### 一般入学試験後期

北見会場

日本赤十字北海道看護大学  
北海道北見市曙町 664 番地 1

札幌会場

日本赤十字北海道看護大学札幌サテライト  
札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 赤十字会館 2 階

必ず受験票を持参のうえ入場してください。

## 10. 合格者発表

試験区分	発表日時	発表場所
推薦	平成21年10月14日(水)午後5時	日本赤十字北海道看護大学 講義・演習棟1階掲示板
前期	平成21年10月14日(水)午後5時	
後期	平成22年3月2日(火)午後5時	

合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書、および入学手続書類を速達郵便で送付します。なお、合格発表に関する問い合わせには応じられません。

## 11. 入学手続

## (1) 入学申込手続

合格通知書とともに郵送される書類により、所定の入学申込手続を下記の期間内に行ってください。

試験区分	入学申込手続期間
推薦	平成21年10月15日(木)～平成21年10月23日(金)(締切当日の消印有効)
前期	平成21年10月15日(木)～平成21年10月23日(金)(締切当日の消印有効)
後期	平成22年3月3日(水)～平成22年3月12日(金)(締切当日の消印有効)

## (2) 入学手続

入学申込手続後、前期分授業料等の納付金を下記の期日までに納付してください。

試験区分	前期分授業料等の納付期限
推薦、前期、後期	平成22年3月25日(木)

## 12. 授業料等納付金

平成22年度の納付金については以下のとおりです。

種類	金額	摘要
入学金	200,000円	入学申込手続時に納付、ただし本学卒業生は免除
授業料	年額800,000円	前期分(400,000円)は入学手続時に納付 後期分(400,000円)は10月中に納付
実験実習料	年額150,000円	入学手続時に納付
維持運営費	年額150,000円	入学手続時に納付
計	1,300,000円	

なお、納入された入学金は返還いたしません。

### 13. 出願資格審査

出願資格（6）により助産実践形成コースに出願する者は、入学時で看護師として2年以上の実務経験を有する者とし、助産実践開発コースに出願するものは助産師として3年以上の実務経験を有するものとし、

#### （1）出願期間、出願資格審査の結果通知

試験区分	出 願 期 間	出願資格審査の結果通知
推 薦	平成21年8月24日（月）～平成21年9月4日（金） 出願締切当日の消印有効	平成21年9月11日（金）
前 期	平成21年8月24日（月）～平成21年9月4日（金） 出願締切当日の消印有効	平成21年9月11日（金）
後 期	平成22年1月12日（火）～平成22年1月22日（金） 出願締切当日の消印有効	平成22年1月29日（金）

#### （2）出願資格審査申請書類等

1）下記の書類を所定の封筒を用いて本学学務支援課宛に「特定記録」で郵送してください。

①出願資格審査申請書

②助産実践形成コースでは看護師、助産実践開発コースでは看護師および助産師の国家試験受験資格を得た、短期大学、専門学校あるいはその他の教育機関の卒業（修了）証明書と成績証明書

③看護師の免許証の写し、および保健師・助産師の免許資格を有する者はその免許証の写し

④在職証明書（助産実践形成コースに出願する者は2年以上、助産実践開発コースに出願する者は助産師として3年以上の在職を証明するもの）

⑤自己推薦書（1,000字以内、様式-3）

#### （3）出願資格審査の方法

書類審査

#### （4）出願資格審査の結果通知

出願資格審査結果を本人宛に郵送します。

### 14. 出願書類の送付先、および問い合わせ先

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1

日本赤十字北海道看護大学 学務支援課

電 話 0157-66-3311（平日 8:30～17:00）

F A X 0157-61-3125

E-mail アドレス n-master@rchokkaido-cn.ac.jp

照会は、受験を希望している本人が行ってください。

## 日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科助産学専攻（修士課程）の概要

**1. 教育理念と教育目的**

## 1. 教育理念

人間の尊厳を尊重する赤十字のヒューマニティーの理念に基づき、女性・子ども・家族への助産ケアの向上のために、自律して助産実践できる高度な専門的能力の修得を目的とする。

また、体系化された助産学を究め、エビデンスに基づいた技術の展開や助産ケアの開発を通して、高度な専門職業人として、地域や国際社会で活躍できる人材を育成する。

## 2. 教育目的

- 1) 女性・子ども・家族の尊厳を尊重し、理論、確かな技術、倫理に基づいて助産ケアの提供ができる。
- 2) 主体的に助産学を探究し、ケアの向上に貢献できる。
- 3) 専門職業人である助産師としての責任を自覚し、自律に向けた行動を取ることができる。
- 4) 赤十字の理念を理解し、地域活動や国際的活動で貢献できる。

**2. コースの内容**

## 1. 助産実践形成コース

看護師資格のある方または取得見込の方で助産師になりたい方のコースです。本コースでは、助産師国家試験受験資格と看護学修士の学位を取得できます。助産学の専門性の高い知識およびコアとなる助産技術を確実に修得し、事例を通し実践との統合を図り、対象への全人的理解が出来る能力を養います。また、エビデンスに基づいたケアを提供できるために研究能力を養います。

## 2. 助産実践開発コース

助産師として実務経験のある方を対象に、専門職としてキャリアアップを図るためのコースです。本コースでは、看護学修士の学位を取得できます。将来、助産師外来・院内助産・開業助産所、地域巡回型妊婦検診、および子育て支援などを自立してできる能力を養います。

**3. 修業年限**

2年

**4. 学位**

修士（看護学）

## 5. 長期履修制度

職業を有する等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（上限3年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望することを申し出た時は、審査のうえ計画的な履修を認めます。またその場合は授業料等の支払い額は次ページのようになります。詳細は担当教員に相談してください。

	金額（年額）					納付期間
	標準課程		長期履修課程			
	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目	
授業料	800,000円	800,000円	500,000円	550,000円	550,000円	前期 4月中 後期 10月中
実験実習料	150,000円	150,000円	100,000円	100,000円	100,000円	4月中
維持運営費	150,000円	150,000円	100,000円	100,000円	100,000円	4月中

## 6. 教育課程の構成

教育課程は、専門基礎科目、実践専門科目、研究および共通選択科目の4つに分類される。

### 1) 専門基礎科目

専門基礎科目では、「助産学概論」で助産学とは何か、助産師とはいかなる職業か、専門職業人としての役割や職業倫理など助産の概念について学ぶ。「助産学特論」、「女性健康科学特論」では、リプロダクティブ・ヘルズに必要なマタニティサイクル期、ライフサイクル期の女性の身体の特徴と変化を学び、実践専門科目の根拠としていく。「母子保健社会学特論」では、母子保健の社会的システムと政策決定について学び、臨地実習の中で修得した知識を生かすことができる。「国際助産学特論」では、世界の母子保健の動向や支援機構の活動を学び、国際貢献での助産師の役割を理解できる。

### 2) 実践専門科目

実践専門科目では、専門基礎科目で学んだ知識を基に、マタニティサイクル期にある女性・子ども・家族に、適切なアセスメントにより保健指導や助産ケアが提供できるために、助産過程の展開、保健指導・助産ケアの方法や内容、状況に即したケア技術の修得を図る。さらに、臨地実習の中で、受け持ったケースのアセスメントの中で知識と技術が統合され、実践経験の積み重ねにより、助産師に必要な能力を修得できる。

### 3) 研究

研究では、助産ケアの質を高めるために、様々な研究手法の中の一つを用いて実際に研究を行い、論文としてまとめる。または、検証された内容と成果を事例を通して特別課題研究としてまとめる。

### 4) 共通選択科目

本科目は、助産師の専門性を高める上で有意義な科目となる。本科目は、助産実践形成コースと助産実践開発コースの選択者が、共に選択できる。なお、看護学専攻の共通選択科目を選択することも可能である（8ページ）。

## 教育課程

区分	授 業 科 目	単位数	助産実践形成 コース		助産実践開発 コース		教 員
			必修	選択	必修	選択	
専 門 基 礎 科 目	助産学概論（基礎助産学）	2	○				教 授 柳原 真知子
	助産学特論Ⅰ（基礎助産学）	2	○				教 授 日隈 ふみ子
	助産学特論Ⅱ	2	○			○	教 授 伊藤 善也
	助産学特論Ⅲ	2		○	○		准教授 井上 由紀子
	助産学特論Ⅳ	2		○	○		准教授 根本 昌宏
	女性健康科学特論Ⅰ（基礎助産学）	2	○		○		准教授 山本 憲志
	女性健康科学特論Ⅱ	2		○		○	准教授 シャロン・ハンリー
	母子保健社会学特論Ⅰ	2	○				講 師 小嶋 理恵子
	母子保健社会学特論Ⅱ	2	○		○		講 師 田中 和子
	国際助産学特論Ⅰ	2	○		○		講 師 林 佳子
実 践 専 門 科 目	国際助産学特論Ⅱ	2	○		○		講 師 山口 さつき
	周産期助産ケアⅠ（助産診断・技術学）	3	○				講 師 高橋 亮
	周産期助産ケアⅡ（助産診断・技術学）	3	○				助 教 齋藤 恵梨子
	周産期助産ケアⅢ（助産診断・技術学）	3	○		○		
	周産期助産ケアⅣ	3	○		○		
	助産学演習Ⅰ	3	○		○		
	助産学演習Ⅱ	3	○		○		
	助産学演習Ⅲ	3		○	○		
	助産学演習Ⅳ	3		○	○		
	助産学実習Ⅰ（臨地実習）	10	○				
研 究	助産学実習Ⅱ	6		○	○		
	助産学実習Ⅲ	9		○	○		
共 通 選 択 科 目	助産学実習Ⅳ	6		○		○	
	助産学研究	8	○		○※		
	特別課題研究	2		○	○※		
	周産期ケア文化論	2		○		○	
共 通 選 択 科 目	助産代替医療	2		○		○	
	助産教育方法論	2		○		○	
	国際政策論	2		○		○	

- ・共通選択科目は、いずれか2単位以上選択（看護学専攻の共通選択科目（8ページ）も選択可能）。
- ・○※印は1科目選択。
- ・修了要件：助産実践形成コース54単位以上、助産実践開発コース49単位以上。

## 7. 修了後の資格

助産実践形成コースの修了者には助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員資格が与えられます。

## 8. 奨学金

日本赤十字社看護師同方会奨学金、独立行政法人日本学生支援機構奨学金、北海道看護職員養成修学資金、社団法人日本看護協会等の奨学金制度があります。

## 日本赤十字社看護師同方会奨学金

貸与金額	在学期間 1,000,000 円以内
貸与対象者	日本赤十字社看護師同方会の正会員で学校法人日本赤十字学園が設置する看護大学の大学院研究科の在学学生を対象とし、学業・素行・健康共に良好で、かつ経済的な理由により修学が困難な者に対し、貸与する。
返 還	修了後3年以内に返還する。

## 独立行政法人日本学生支援機構奨学金

種 類	第一種奨学金	きぼう21プラン(第二種)奨学金
貸与金額	月額 50,000 円または 88,000 円から選択する。	下記の5種類の中から希望額を選択する。 月額 50,000 円 80,000 円 100,000 円 130,000 円 150,000 円
利 息	無利子	有利子
選 考	大学等並びに大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。 ・収入基準額・・・416万円	1. 大学等並びに大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができる者と認められる者。 2. 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があると認められる者。 ・収入基準額・・・595万円
返 還	貸与終了してから6ヶ月を経過後、14年以内に返還する。 返還月賦額は貸与総額によりその額が定められる。	貸与終了してから6ヶ月を経過後、次の期間内に返還する。 ・期間は、貸与月額 50,000 円→12年以内 80,000 円→13年以内 100,000 円→15年以内 130,000 円→18年以内 150,000 円→20年以内 ・返還月賦額は貸与総額によりその額が定められる。

## 北海道看護職員養成修学資金

種 類	助産師修学資金
貸与金額	月額 32,000 円
貸与期間	在学期間中
貸与対象者	助産師養成施設に在学している者で、将来道内において助産師業務に従事しようとする者。
募集時期	4月から5月
返還の免除	道内の病院その他の施設に助産師として5年以上従事すること。
返還期間	貸与を受けた期間に相当する期間内

## 社団法人北海道看護協会奨学金

貸与金額	月額 100,000 円以内
貸与対象者	大学院に在学する者で北海道内において、看護の教育にたずさわる意思を有する会員であること。
返 還	修了後3年以内に返還する。

## 社団法人日本助産師会奨学金

貸与金額	月額 50,000 円で24ヶ月分全額 1,200,000 円以内
貸与対象者	専門職大学院(助産)および助産学専攻修士課程に在学する身体強健、学術優秀で、将来助産師業務に従事する者で(社)日本助産師会会員になることを約束し、学資の援助を要する者。
返 還	卒業後2ヶ月(卒業年5月)より第1回返還を開始し、2年以内に終了する。貸与の全額を返還する。

# 提出書類

書類		大学等を卒業された者	出願資格審査を申請する方（短大・専門学校卒業等の者）	出願資格審査により出願資格を認定された者
出願	入学志願票・履歴書	○		○
	受験票・写真票・入学検定料納入票	○		○
	卒業および成績に関する証明書	○		×
	在職証明書	○ 推薦入試、CNSコースと助産実践開発コースのみ		×
	看護師などの免許証の写し	○		×
	受験票返信用切手（350円）	○		○
	研究テーマと研究の動機（様式-1）	○ CNSコースは不要		○ CNSコースは不要
	推薦書（様式-2）	○ 推薦入試のみ		○ 推薦入試のみ
出願資格審査	出願資格審査申請書		○	
	卒業および成績に関する証明書		○	
	看護師などの免許証の写し		○	
	在職証明書		○ 希望するコースにより在職証明期間が異なる	
	自己推薦書（様式-3）		○	

様式-1～様式-3については本学ホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.rchokkaido-cn.ac.jp>

## 入学志願票

日本赤十字北海道看護大学長 様

受験番号 ※

私は日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科(修士課程)への入学を志願します。

フリガナ						男 女	写真 (縦4cm×横3cm)
氏名							
生年月日	昭和・平成 年 月 日 ( 歳 )					試験区分	写真票に貼付した 写真と同じもの
研究科	専攻	分野・コースの選択		論文	CNS		
看護学 研究科	看護学専攻	安全管理学分野					
		成人看護学分野					
		精神看護学分野					
		地域看護学分野					
		がん看護学分野					
	助産学専攻	助産実践形成コース					
助産実践開発コース							
出願資格	大学	大学 学部 学科 昭和・平成 年 月 日卒業・卒業見込					●試験場の希望 (助産学専攻一般 入試後期のみ)
	学位授与機構	学位授与機構 学士 平成 年 月 日認定終了・認定終了見込					
	大学及び学位授与機構 以外の最終医療系教育 機関を卒業した者	教育機関の名称 昭和・平成 年 月 日卒業					
▲推薦入学試験・一般入学試験前期の受験				あり・なし			
本籍(都道府県名、外国籍出願者は国籍)							
(フリガナ)							
現住所							
(フリガナ)							
連絡先							
連絡方法	電話	-	-	携帯電話	-	-	
	E-mail アドレス						

注1. ※印欄は記入しないでください。

2. 性別および年号には○をつけてください。

3. 分野・コースおよび試験区分の選択は、希望する欄に○をつけてください。

4. ●助産学専攻一般入学試験後期の受験者は希望する試験場に○をつけてください。

5. ▲推薦入学試験・一般入学試験前期の受験の有無は、後期受験者のみ回答してください。

6. 連絡先は、合格通知等の送付先が現住所と異なる場合のみ記入してください。

7. 提出された入学志願関係書類の個人情報については、入学試験以外には使用することはありません。

8. 裏面の履歴書も必ず記入してください。

# 履 歴 書

※ 和暦で記入してください。履歴欄が不足した場合は、別紙で作成してください。

学 歴	
(高等学校以降、最終学歴まで記入してください。在学中を含みます。)	
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
職 歴	
(職名を記入してください。現職も含みます。)	
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
昭・平	年 月～
昭・平	年 月
取 得 免 許	
(取得年月および免許番号を記入してください。)	
看 護 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
助 産 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
保 健 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
その他の医療免許 ( )	昭・平 年 月 免許番号 ( )

# 写真票

受験番号 ※	
フリガナ	性別
氏名	男 女

分野	試験区分
看護学専攻	推薦入試
	一般入試
	推薦入試
	一般入試
	推薦入試
地域看護学	一般入試
	推薦入試
がん看護学	一般入試

コース	試験区分
助産学専攻	推薦入試
	一般入試
助産実践 開発	推薦入試
	一般入試

(注) 該当する分野・コース、試験区分に○印をつけてください。

写真

(縦4cm×横3cm)

入学志願票に  
貼付した写真  
と同じもの

# 入学検定料納入票

受験番号 ※	
フリガナ	性別
氏名	男 女

切り離さないこと

## 検定料振込受付証明書貼付欄

- ※1 証明書が貼付されていないものは無効です。
- ※2 はがれないよう全面貼付してください。

# 受験票

受験番号 ※	
フリガナ	性別
氏名	男 女

## 大学院入学試験日程

試験日	科目名	時間
看護学専攻 一般入試 前期 10/11 後記 2/28	受付	9:15～9:45
	ガイダンス	9:45～10:00
	専門科目	10:00～11:30
	外国語	12:30～13:30
	面接	14:00～

試験日	科目名	時間
看護学・ 助産学専攻 推薦入試 10/11	受付	8:45～9:15
	ガイダンス	9:15～9:30
	小論文	9:30～11:00
	面接	11:20～

試験日	科目名	時間
助産学専攻 一般入試 前期 10/11 後記 2/28	受付	8:45～9:15
	ガイダンス	9:15～9:30
	小論文	9:30～11:00
	専門科目	11:15～12:15
	外国語	13:00～14:00
面接	14:15～	

(注) 該当する試験日欄に○印を付けてください。

### 受験上の注意

1. 受付の係員に受験票を提示し、ガイダンス開始までに試験会場に入室してください。
2. 試験開始20分以上の遅刻は認めません。
3. 英語では、英和辞書のみ持ち込み可。電子辞書は不可。
4. 計算機能を有する時計・文具等の持込み及び定規・コンパス・下敷等の使用は認めません。
5. 受験票・筆記用具(黒色の鉛筆またはシャープペンシル・消しゴム)及び昼食を持参してください。
6. 試験場では携帯電話の電源を切ってください。

## 出願資格審査申請書

申請番号	※
------	---

日本赤十字北海道看護大学長 様

私は、貴学大学院看護学研究科（修士課程）の入学試験に出願を希望します。  
つきましては、出願資格審査を受けたく、所定の用紙を添えて提出します。

フリガナ		男 女
氏 名		
生年月日	昭和・平成      年      月      日（      歳 ）	
現住所	〒      -      - _____	
	電 話      -      - _____	
	携帯電話      -      - _____	
	E-mail アドレス _____	

入学志願する予定の専攻およびコースを選択し、左欄に○印をつけてください。

	看護学専攻 論文コース		感染症看護 がん看護	看護学専攻 CNS コース		助産学専攻 助産実践形成 コース	助産学専攻 助産実践開発 コース
--	----------------	--	---------------	------------------	--	------------------------	------------------------

和暦で記入すること。履歴欄が不足した場合は、別紙で作成してください。

学 歴 (高等学校以降、最終学歴まで記入してください。在学中を含みます。)		
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
職 歴 (職名を記入してください。現職も含みます。)		
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	
昭・平	年 月～	
昭・平	年 月	

## 取得免許

(取得年月および免許番号を記入してください。)

看 護 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
助 産 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
保 健 師	昭・平 年 月 免許番号 ( )
その他の医療免許 ( )	昭・平 年 月 免許番号 ( )

## 賞 罰

年 月 日	事 項
昭・平 年 月 日	
昭・平 年 月 日	
昭・平 年 月 日	
昭・平 年 月 日	

## 院内外における研究・活動 (委員会活動等)

年 月 日	事 項

※印欄は記入しないでください。



## 推 薦 書

受験番号 ※

フリガナ		男 女
氏 名		
生 年 月 日	昭和・平成	年 月 日 ( 歳)
[推薦理由]		
<p>[評価項目] 以下の該当する評価尺度に○印をつけてください。</p> <p>1. 柔軟な思考 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p> <p>2. 協調性 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p> <p>3. 探求心 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p> <p>4. 自己学習力 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p> <p>5. 自己表現力 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p> <p>6. 他者への配慮 ①十分ある ②かなりある ③普通 ④あまりない ⑤まったくない</p>		
平成 年 月 日		
所属機関名 _____		
推薦者職名 _____		
推薦者名 _____ 印		

※印欄は記入しないでください。

本推薦書を作成されましたら、封筒に入れ厳封のうえ志願者にお渡しく下さい。



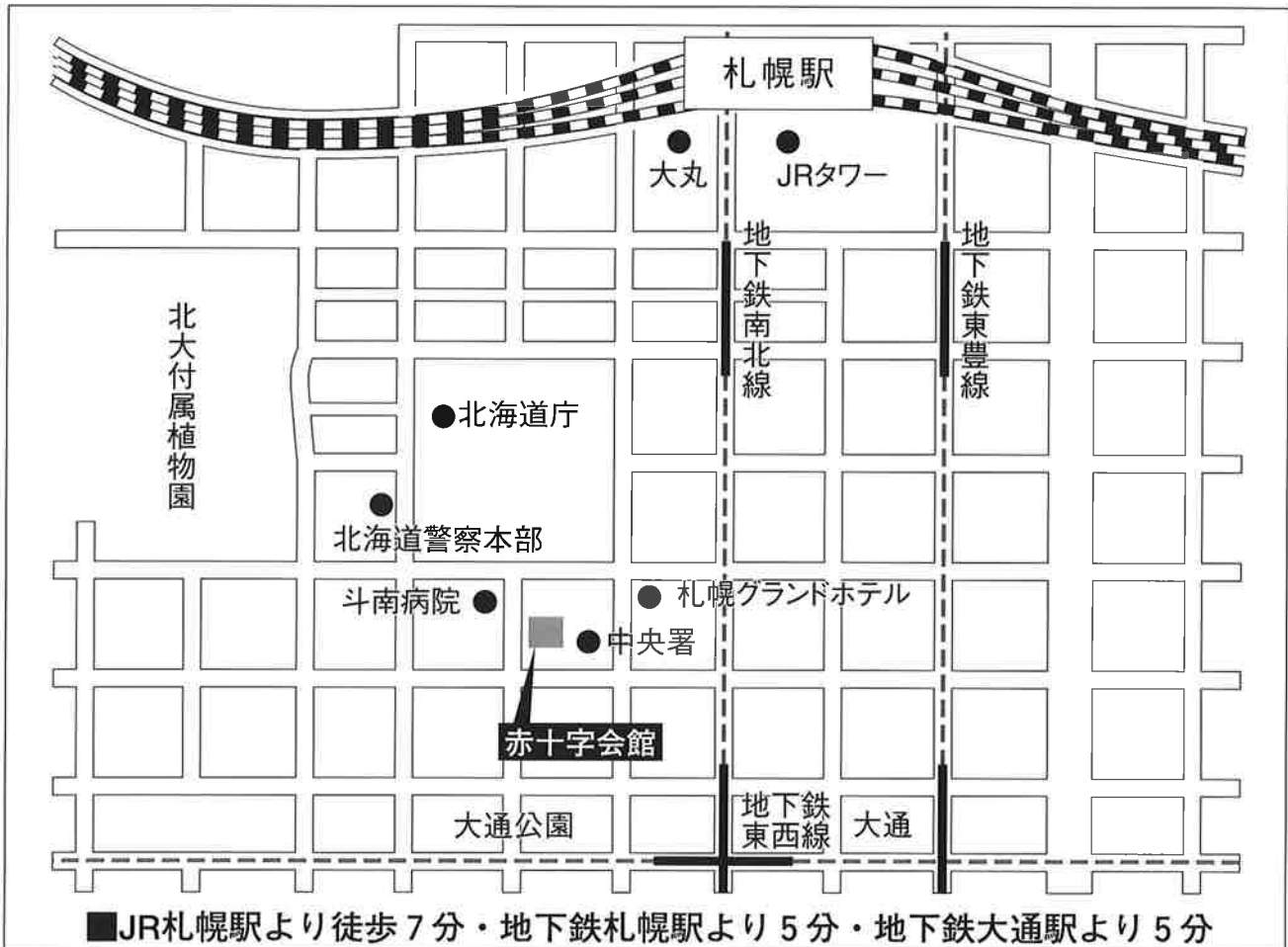


# 試験場案内図

北見試験場 本学（北見市曙町664番地1）



札幌試験場 札幌サテライト（札幌市中央区北1条西5丁目 赤十字会館2階）



問い合わせ先

〒090-0011 北海道北見市曙町664番地1

**日本赤十字北海道看護大学 学務支援課**

TEL (0157) 66-3311 (代)

FAX (0157) 61-3125

E-mail [n-master@rchokkaido-cn.ac.jp](mailto:n-master@rchokkaido-cn.ac.jp)